



毎月1回、ビジネスのお役に立つ情報をおとどけいたします。

U-mic News No.20

ユーミックは、さまざまな得意分野を持つコンサルタントが集まったスペシャリスト集団です。

Yoshida's Monthly Voice

吉田 英憲／大手電機メーカーでITソリューションの営業、市場調査、経営企画などの業務を経験。現在は、ビジネスプランの作成支援の他、採算分析を踏まえた赤字企業の立て直し、業務効率化(IT活用含む)、後継者の立場に立った事業承継などの支援を行っている。中小企業診断士 行政書士

今月中旬、ある商工会議所様のご依頼にて、後継者向けに戦略マップセミナーをおこないました(戦略マップのイメージは右図)。私の業務では、企業内の人材育成の一環で、5～10名程度にて戦略マップを複数回にわたってお伝えすることが多いのですが、今回は100名規模の参加者に対して、4時間という短い時間でお伝えしました。限られた時間内で、一つでも多くを持ち帰ってほしいと思います、

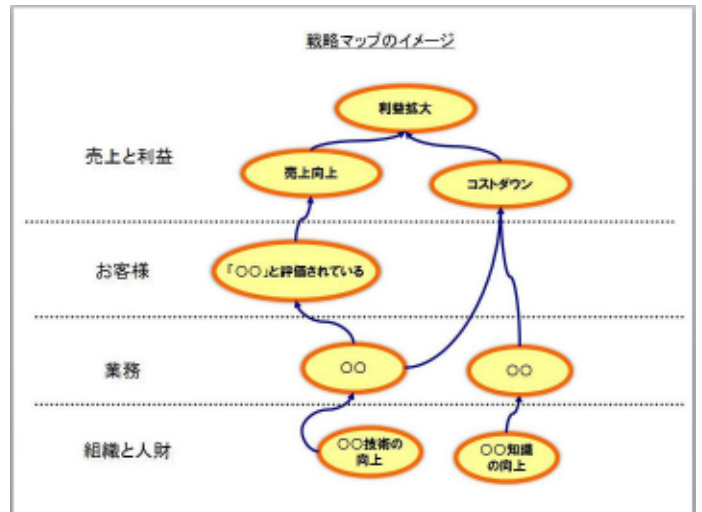
- (1) 経営戦略の考え方
- (2) 戦略マップの概要
- (3) 戦略マップを活用した自社分析
- (4) 戦略マップを活用した将来像策定

を幅広くお伝えしました。

セミナーとなると座学中心になりがちですが、今回は受講生自身で考えるワークの時間を多く設け、セミナー後半では、ワークシートにポストイットを貼っていく作業をおこなっていただきました。受講生の多くはポストイットを使う作業に当初戸惑いを感じておられたようでした。

が、セミナー後半は楽しみながら作業に集中していらっしゃいました。

時間の制約上、お伝えすることがコンパクトにならざるを得ない部分もございました。しかし、受講生からも、頭の整理ができたなどのコメントを頂いており、エッセンスは掴んで頂いたのではないかと思います。



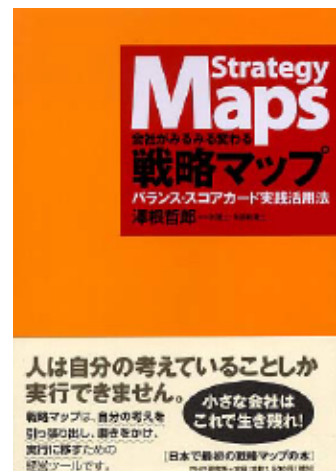
↑<戦略マップのイメージ>(セミナーより)

吉田 英憲が
ご紹介する本

今回は、上のコーナーで記載した、「戦略マップ」の入門的な本です。ご存じの通り、戦略マップは、バランス・スコアカードという経営管理手法の一部です。バランススコアカードは他の経営手法同様に、アメリカの大手企業向けに開発された経緯もあり、用語(訳語を含めて)や言い回しなどにやや難解な部分が見受けられます。

この本は、大手企業でなく、小さな会社でも特に戦略マップの考え方が理解できるように、わかりやすく説明されています。はじめ、バランス・スコアカードや戦略マップに触れる方にはおすすめの一冊です。先のセミナーでも一部、著者の考え方などを引用させて頂きつつ、自身のアレンジを加えてお伝えしました。

戦略マップに限らず、経営に関する多くの手法は道具です。経営者・従業員の方が使いこなせてこそ、道具として輝き出しますので、私も支援者の一人として引き続き経営者・従業員の方の視点を大切にしていきたいと思っております。



会社がみるみる変わる戦略マップ
～バランス・スコアカード実践活用
著者：澤根 哲郎
出版社：P H P 研究所
価格：1,575円(税込)



his
ki
su
su
ta ki
su
hi
his
- Tr
ts
o
su
su
ki
su
hi



his 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000 0000
Watanuki Hisashi

ki
ki
- ki
su
su
su
-
t
t
o
-
hi
his
s
a
a
hi

Kokura Aya